

小山田大龍地区まちづくりを考える会
大龍地区まちビジョン準備会（第5回）

日時 2023.5.24（水）18:00～19:40

場所；大龍会館

参加者；14名

- ・ 市民9名
- ・ 市議1名
- ・ 街づくりアドバイザー 1名
- ・ 町田市地区街づくり課 3名

1. 前回の確認（アドバイザー）

2. 参加者の前回の報告に対しての意見その他

- ・ モノレールから離れて地域の話を進められる事は良い
- ・ 地域の方に街づくりの目標を見せることが出来る
- ・ 里山会館の整備（活動拠点として施設誘導を進める）は周辺の道路整備に繋がるが現実的な話として市の用地かまたは生産緑地になるのでは？
- ・ 道路計画の無い地域よりは整備が終わっている中部地域に施設が立地するのでは？
- ・ モノレールは道路が無いと始まらない
- ・ 今までの議論に出たキーワードで問題解決していく
- ・ 議論の内容を市の施策に反映、繋げていく
- ・ 忠生地域全体から見たこの地域の位置づけを明確にする
- ・ 市と小田急の所有地の活用
- ・ 大切なのは地域住民が同じ方向を見てまちづくりを進めることで外からも人が集まる
- ・ この地域は都心から近い田舎のイメージ。一度外に出てこの地の魅力を再確認した。この環境を変えないでほしい。
- ・ この地域の不便さを生かした施設（キャンプ場等）なんかも良い
- ・ サイクリングをしている人もよく見る。緑地・公園との連携や地域のPR冊子（地図等）などを作成し地域のアピールをする
- ・ 祭りでも子どもが参加しやすい企画必要（祭りの周知も回覧から全戸配布にするなどの工夫をする）。

3. 小山田中部地区まちビジョン検討の事例紹介

4. 大龍地区の目標（案）について

前回までの議論から出たキーワードの説明

・ 補足事項

里山会館の整備促進

多摩丘陵病院の建て替え（コンビニ、野菜の販売、トイレの利用）

三角地の活用（野菜の販売等）

5. 今後期待するまちづくりのキーワード

前回まで議論から出たキーワードの説明

・ 補足事項

交通利便性の向上

6. まちビジョンの目標（案）について

・ 高齢化を迎えている地域を継続的なコミュニティ活動を通して次世代への継承を進める。

・ そのため、身近な祭り等の活動を通じ、地域コミュニティの活性化を図り、新たに地域資源である東谷戸の農地活用や里山景観の醸成を図るなど継続的な活動により円滑な世代交代で地域を活性化する。

7. 次回 6 月 21 日（水）午後 6 時から 大龍会館

・ 次回は目標（案）に伴い幾つかの方針（案）も作成し検討する

・ 多摩丘陵病院の街づくりへの参加については、次回までに会長とアドバイザーで病院側と協議する